

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.3
Q1 室内環境			0.40	-	-	3.3
1 音環境		2.6	0.15	2.2	1.00	2.5
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音		3.0	0.40	2.0	0.40	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0	0.38	3.0	1.00	
2 外皮性能		3.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.37	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.3	0.24	3.0	1.00	3.2
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.0	0.43	
1 昼光率		3.0	0.60	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	1.00	
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-	
1 昼光制御	ブラインド+庇+ルーバー	4.0	1.00	-	-	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.21	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.36	
4 空気質環境		4.3	0.25	4.2	1.00	4.3
4.1 発生源対策		5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学汚染物質	ほぼ全面的にF☆☆☆☆、VOC放散量が少ない建材を採用	5.0	1.00	5.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.35	3.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	0.30	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.35	3.0	0.33	
4.3 運用管理		4.5	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視	ビル管理法のCO ₂ 記入、及び維持する換気運転マニュアルの整備	4.0	0.46	-	-	
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	0.54	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.6
1 機能性		3.4	0.40	1.6	1.00	3.4
1.1 機能性・使いやすさ		2.8	0.40	1.0	0.60	
1 広さ・収納性		3.0	0.29	1.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.29	1.0	-	
3 バリアフリー計画	一般市民が利用する1階はバリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている	4.0	0.41	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.8	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観	事務室の天井高2.7m以上、十分な窓の設置	4.0	0.29	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース	7.14%のリフレッシュスペース+自動販売機の設置	5.0	0.29	-	-	
3 内装計画		3.0	0.41	1.0	0.50	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	外装材には汚れにくく塗り替え等の必要がない材料を使用する。	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	地下ピット内を無理なく移動できるよう、人通りや床点検口を配置した。	4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		4.0	0.30	-	-	4.0
2.1 耐震・免震		4.6	0.50	-	-	
1 耐震性	重要度係数1.5	5.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	厨房ダクト:ステンレスダクト	5.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	冷媒、空調レン管がC、加湿管がB	4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.4	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備	無線通信設備バックアップ電源として、非常用発電機、電源車接続の二重化を計画。	4.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	光ケーブル、マルチケーブル引込、通信機器主装置は5Fに設置、ネットワーク機器用UPS	4.0	0.20		-	
3	対応性・更新性		3.4	0.30	5.0	1.00	3.5	
3.1	空間のゆとり		4.5	0.30	5.0	0.50		
1	1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.57	5.0	0.60	
2	2	空間の形状・自由さ	2階の壁長さ比率=0.23.宿泊部分壁長さ比率=0	4.0	0.43	5.0	0.40	
3.2	荷重のゆとり		3.0	0.30	5.0	0.50		
3.3	設備の更新性		3.0	0.40		-		
1	1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	-	3.1
1	1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30		-	2.0
2	2	まちなみ・景観への配慮	西側前面道路から壁面をセットバックさせ、道路に対する圧迫感を軽減。	4.0	0.40		-	4.0
3	3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30		-	3.0
3.1	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	-	3.1
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	-	3.3
1	1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI=4.64MJ/㎡年±508MJ/㎡年=0.913	3.8	0.20		-	3.8
2	2	自然エネルギー利用	階段室を利用した自然換気システム	4.0	0.10		-	4.0
3	3	設備システムの高効率化	BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) -	3.0	0.50		-	3.0
		集合住宅以外の評価(3a.3b)		3.0	1.00		-	
		集合住宅の評価(3c)		-	-		-	
4	4	効率的運用		3.5	0.20		-	3.5
		集合住宅以外の評価		3.5	1.00		-	
4.1	4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	4.2	運用管理体制	省エネルギー計算書のエネルギー消費量を目標値にする。	4.0	0.50		-	
		集合住宅の評価		-	-		-	
4.1	4.1	モニタリング		3.0	-		-	
4.2	4.2	運用管理体制		3.0	-		-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	-	2.9
1	1	水資源保護		3.4	0.20		-	3.4
1.1	1.1	節水	自動水栓、人感センサー小便器	4.0	0.40		-	
1.2	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2	2	非再生性資源の使用量削減		2.8	0.60		-	2.8
2.1	2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10		-	
2.2	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
2.3	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20		-	
2.5	2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10		-	
2.6	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+ペンキ仕上	4.0	0.20		-	
3	3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20		-	3.0
3.1	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
3.2	3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	
1	1	消火剤		-	-		-	
2	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	-	3.0
1	1	地球温暖化への配慮		3.0	0.33		-	3.0
2	2	地域環境への配慮		3.1	0.33		-	3.1
2.1	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2	2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
2.3	2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25		-	
1	1	雨水排水負荷低減	敷地内浸透	4.0	0.25		-	
2	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	3	交通負荷抑制	駐輪場・駐車場の整備	5.0	0.25		-	
4	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3	3	周辺環境への配慮		3.1	0.33		-	3.1
3.1	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1	1	騒音		3.0	1.00		-	
2	2	振動		-	-		-	
3	3	悪臭		-	-		-	
3.2	3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40		-	
1	1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	2	砂塵の抑制		3.0	-		-	
3	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3	3.3	光害の抑制		3.7	0.20		-	
1	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告照明はなし。	4.0	0.70		-	
2	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	